

学 科	作業療法学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演 習
科 目 名	機能解剖学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期及び曜時限	後期	教室名	802
担 当 教 員	三 田 直 人				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。 資格:音楽健康指導士 準2級、地域音楽コーディネーター、認知症ケア指導管理士。				
《授業科目における学習内容》 運動学で学んだ内容を復習する。 運動学の知識を基礎とし、動作の特徴や順序、各相におけるメカニズムを講義形式で指導する。 動作パターンを実技で解説し、学生動作模倣させる。 実際に動作を遂行することにより、講義で修得した知識を再度確認する。					
《成績評価の方法と基準》 定期試験50%, 小テスト50%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 基礎運動学					
《授業外における学習方法》 各講義前にシラバスで講義内容を確認し教科書で予習し、教科書と配布資料で復習する。					
《履修に当たっての留意点》 運動学、基礎運動学で学ぶ内容は作業療法士として重要な内容である。その内容を理解していると、実際の運動を分析する際に理解が容易となる。本講義においても復習をしっかりと行うことが重要である。小テストについては、事前に提示しているので計画的に勉強して下さい。※また、○×問題について:「間違った場合は、－2点とします。」					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 回	授業を通じての到達目標	運動学で学んだことが想起できる/本授業の内容、進行を説明できる。/臨床の使い方を説明できる。	教科書 パワーポイント		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション/本講義の内容を臨床場面でどのように使うか？			
第 2 回	授業を通じての到達目標	運動に関係する力を理解できる/運動面と軸が言える/運動が言える/筋収縮の様態、筋の働きを説明できる。/てこを理解し、実際の姿勢、運動で説明できる。	教科書P19～ プリント	運動学まとめ試験	
	各コマにおける授業予定	生体力学の基礎～			
第 3 回	授業を通じての到達目標	下肢の関節、筋肉について理解できる。	教科書、プリント	小テスト: 下肢の筋肉 (P252、大腿筋膜張筋まで)	
	各コマにおける授業予定	下肢の関節、筋肉(骨盤・股関節)について理解できる。			
第 4 回	授業を通じての到達目標	下肢の関節、筋肉について理解できる。	教科書、プリント	小テスト: 下肢の筋肉 (P252、大腿筋膜張筋まで)	
	各コマにおける授業予定	下肢の関節、筋肉(股関節・膝関節)について理解できる。			
第 5 回	授業を通じての到達目標	下肢の関節、筋肉について理解できる。	教科書、プリント	小テスト: 下肢の筋肉 (P253まで)	
	各コマにおける授業予定	下肢の関節、筋肉(膝関節)について理解できる。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	下肢の関節、筋肉について理解できる。	教科書、プリント	小テスト: 下肢の筋肉 (P259まで)
	各コマにおける授業予定	下肢の関節、筋肉(足関節)について理解できる。		
第 7 回	授業を通じての到達目標	下肢の関節、筋肉について理解できる。	教科書	小テスト: 下肢の筋肉 (P264まで)
	各コマにおける授業予定	下肢の関節、筋肉(足関節)について理解できる。		
第 8 回	授業を通じての到達目標	体幹の運動を説明できる。	教科書	小テスト: 体幹の筋肉 (P281胸骨舌骨筋まで)
	各コマにおける授業予定	頸椎の関節について理解できる。		
第 9 回	授業を通じての到達目標	体幹の運動を説明できる。	教科書	小テスト: 体幹の筋肉 (P281まで)
	各コマにおける授業予定	頸椎の関節について理解できる。		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	体幹の運動を説明できる。	プリント	小テスト: 授業内容+筋 (P282まで)
	各コマにおける授業予定	体幹の関節、筋について理解できる。		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	体幹の運動を説明できる。	プリント	小テスト: 授業内容+筋 (P283梨状筋まで)
	各コマにおける授業予定	体幹の関節、筋について理解できる。		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	体幹の運動を説明できる。	プリント	小テスト: 授業内容+筋 (P286まで)
	各コマにおける授業予定	呼吸について理解できる。		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	体幹の運動を説明できる。	教科書	小テスト: 授業内容+筋 (P291まで)
	各コマにおける授業予定	呼吸について理解できる。		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	生体の構造と機能を理解し、実際の症例で説明することができる。	教科書	
	各コマにおける授業予定	生体の構造と機能(P47～)		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	生体の構造と機能を理解し、実際の症例で説明することができる。	教科書	
	各コマにおける授業予定	事例で分析してみよう！		